


こんにちは！みなさん、楽しい冬休みを過ごされましたか？？（読んでもらえるのが年明けと思い、文面を考えました。笑）

12月に入り芦野組グループでは新しい工事がスタートし、新しい機器も導入されました！

「働き方改革」がどんどん進む中、新しい測量器械で作業効率を上げ、働き方改革につながる期待をしています。また、ICTを活用しての工事は、それだけでワクワクしてきますね！本格的な工事が始まるのは1月からとなりますが、その前に今回導入した測量機器をご紹介しますと思います。

TOPIC

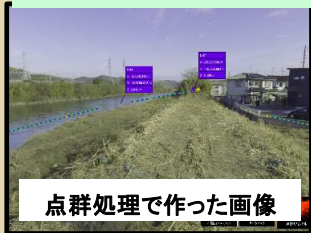
新しい測量器械を導入しました！

カメラで有名なライカの3Dレーザースキャナーを新しく導入しました！先日、納品時に現場で使い方などをメーカーさんからレクチャーしてもらいに行ってきました。この測量器は景色を無数の点で処理をして、3Dの図形におこしてくれる「スグレモノくん」です！ライカカラーの赤と黒がカッコイイ～

普通のカメラで撮影した写真



↓ 草の立体感まで一緒です!!



点群処理で作った画像



操作画面はスマホみたいです。



適当な位置に測量器を設置し、ビデオの再生マークのようなボタンを押すと、約1分半かけて自動で360度回転し点群と写真を撮影してくれます。これを何地点かで繰り返すだけ。後はパソコンにデータを落とせば集めたデータを勝手に処理して図面してくれるんですよっ！

※移動も機器本体がどれだけの距離、どの方向に動いたかも勝手に計測します。

3か所に置いた既知点（もともと座標がわかっている点）に数字を入れるだけで、それ以外の測点の座標も自動で計算してくれます。

これを利用して、掘る土の量を計算したり、長さや高さを測ったり、様々な事が簡単に出来るようになります。

黄色の三角が撮影ポイントになります。



新しい工事も始まっています!!

New

竣工（完成）が続き、少しゆっくりしていた社内ですが、今月から新しい工事が始まりました！

昨年、西日本豪雨で水害があった岡山市の砂川の浚渫（しゅんせつ）工事です。

1月から船を使って川の上からの施工が始まります。工事の中身もご紹介していきますので、楽しみにしててくださいね♪

港や川をきれいにし、安全と環境を守ります。

しゅんせつ工事とは

船舶が安全に航海できるように海底を掘り下げたり、港湾や河川、湖沼に堆積したヘドロを取り去ってきれいにするのが仕事です。漢字で「浚渫」と書きます。豪雨の際に、洪水がなめらかに流下できるように川底を掘り下げることなども浚渫です。浚渫した土砂は、埋立材料として有効利用されています。